

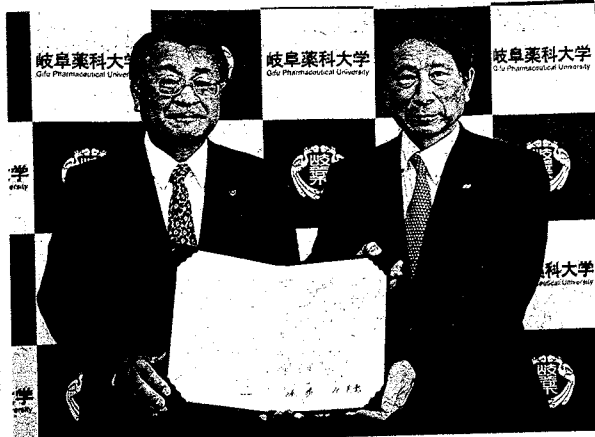
全国初使



「健康口座」の特徴や意義を説明する境頭取。医療費の見える化にもつながる取り組みに参加を呼び掛ける
 大垣市郭町の大垣共立銀行本店で

創薬開発にプラズマ技術

岐阜薬科大と名大センターが協定



協定を結んだ名古屋大の堀センター長(右)と、岐阜薬科大の原学長(左)＝岐阜市の岐阜薬科大で

名古屋大(名古屋市の)の低温プラズマ科学研究センターと岐阜薬科大(岐阜市)は九日、プラズマ技術を生かした創薬の開発などに共同で取り組むための連携協定を結んだ。

名大の堀勝センター長の研究で、プラズマを照射し

たがん細胞が死滅することが分かっており、医療分野への応用が期待される。両大は今後、低温プラズマを使ってがん治療を含む新しい薬の開発を進める。研究者や学生の交流を進め、研究機器も活用し合う。

岐阜薬科大で締結式があ

プラズマ 電子やイオンが集まってできる高いエネルギー粒子の集合体。固体、液体、気体に続く「物質の第4の状態」とされ、気体にさらにエネルギーを加えることができる。近年は、大気圧下で数万度ほどの低温プラズマを生み出すことができ、スマートフォンなど半導体の加工にも使われる。

り、両大の教授ら十人が出席。堀センター長は「プラズマは人類が生んだ基幹科学技術。創薬と手を結び、プラズマファーマシーという学問をつくりたい」と期待を込め、岐阜薬科大の原英彰学長は「創薬という観点から、世界をリードするプラズマ研究に貢献したい」と語った。

(都沙羅)

収穫前の柿盗難防げ

北方署などが畑パトロール



J Aの職員＝本巣市郡府で

岐阜市と山県市で十月下旬から今月上旬にかけて、収穫前の柿が大量に盗まれる被害が相次いだことを受け、北方署などは九日、柿

の生産が盛んな本巣市内をパトロールした。

署やJAぎふの職員ら計三十五人が参加。本巣市の柿農家をつくる「マル糸柿振興会」や地域住民らとともに三方所の柿畑を見て回り、不審な人がいないか、柿が取られた跡はないかなどに注意して畑を歩き、パトカーでも周辺を警戒した。

柿の出荷が終わる十一月上旬まで、市内の畑で巡回を続ける予定。北方署の中島俊仁署長は「警察としても警戒を続けているが、地域の方々も目を光らせてほしい」と呼び掛けた。

(酒井貴之)

地裁初公判

二〇一八―一九年に四件の強盗致傷事件などに関わったとして、強盗致傷などの罪に問われたブラジル国籍の住所不定、無職グラル・アキラ・バルシル被告(三七)の裁判員裁判の初公判が九日、岐阜地裁で開かれた。

検察側の冒頭陳述によると、被告は数人で共謀して羽島市、滋賀県長浜市、愛知県南知多町、名古屋市の北区で起こした強盗致傷事件で、共犯者に情報提供するなどして関わった。弁護側は、強盗ではなく窃盗だと主張した。

起訴状などによると、被告らは一八年六月十五日、羽島市の民家の駐車場で、男性の顔に刺激物が入ったスプレーを吹き付けて目にはがを負わせるなどして、約六百五十万円が入ったポーチ二個を奪ったとされ、他の三件も同じ手口とされる。

二―七時ごろ腹を刃物で刺して、十捕された。

大麻所 20歳男

垂井署が取締法違反で岐阜市上佐藤翔太容取締法違反で関市津社員山岸麻枝市東山藤玲斗容疑者逮捕

逮捕容疑者午後九時五のコンビニ容疑者がした大麻電子たばこ疑者と近所ろに合成したとき署は三員が三人認められた。期間は来年二月三日まで。「刑事責任能